

I w a i  
M e d i c a l  
F o u n d a t i o n

for a patient's happiness.  
すべては患者さんの幸せのために



医療法人財団 岩井医療財団  
岩井整形外科内科病院

当院が目指すもの

# すべては患者さんの 幸せのために



院長 稲波弘彦 Inanami Hirohiko

東京大学医学部医学科卒業  
東京大学医学部整形外科学教室入局  
都立墨東病院、三井記念病院、虎の門病院等に出向  
平成2年、岩井整形外科内科病院院長就任

## 患者さんの心に寄り添う医療の実現

患者さんは、さまざまな痛みと不安を抱え、時に笑顔を失いながら、日常生活を頑張って送っています。

当院に足を運んでくださった患者さんにお会いするたびに、まず「今までよく頑張ってきましたね」、「早く不安や痛みを取り除きましょうね」と声をおかけします。

一方で、医療従事者として、「私どもが知りうる限りの最善の医療手段を用いて、1分1秒でも早く、患者さんの痛みと不安を取り除くために何をすればよいか」と考えを巡らします。

仏教用語に「鬼手仏心」という言葉があります。この言葉を外科医になぞらえると、「手術では大胆にメスを入れるが、それは何としても患者さんを救いたいという温かい心を持っているからである」という意味であります。

「温かい心のもとに最善の医療を尽くす」

これが私どもの信条です。当院が、痛みや体の負担が少ない低侵襲手術を重視し、最先端の医療・検査機器、高度な技術を持つ専門スタッフを揃え、つねに迅速な対応を心がけているのは、ただひとつ、「患者さんの幸せのために」です。



## 院長に一問一答

**Q** 腰痛疾患の患者さんが多いようですが。

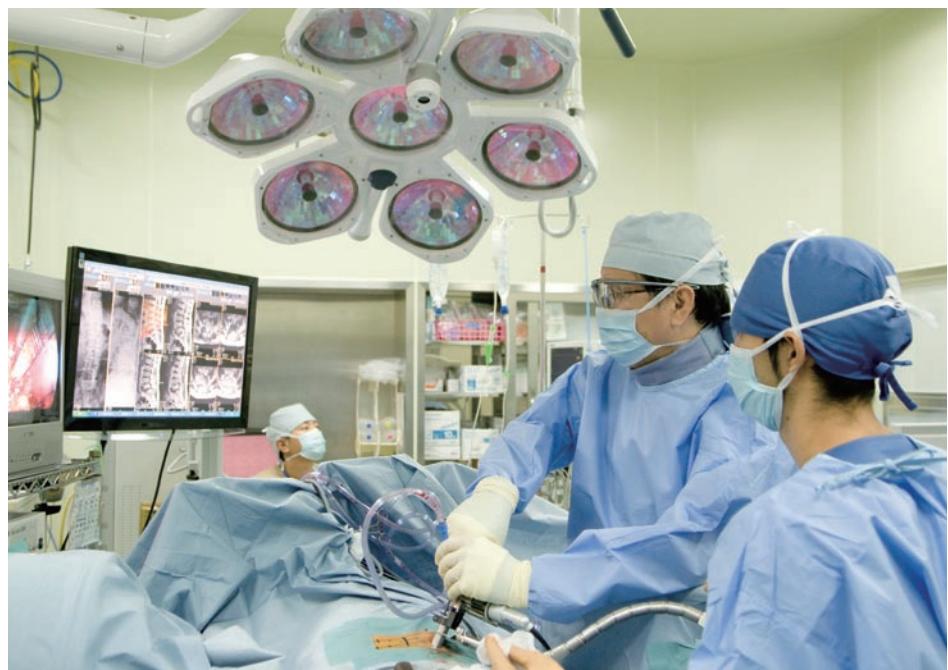
**A** 平成24年の手術件数1452件のうち、約9割が脊椎疾患です。さらに椎間板ヘルニアの内視鏡手術(MED)、腰部脊柱管狭窄症の内視鏡手術(MEL)、内視鏡下椎体間固定術(MEP-LIF)が脊椎疾患手術の約9割を占めています。

## 1 日本一の技術

腰痛疾患の内視鏡手術件数は日本トップクラス

開設以来、整形外科に特化している当院では、患者さんにとって身体の負担が少なく、入院期間も短い『低侵襲手術』に重点を置いています。とくに腰椎椎間板ヘルニアの内視鏡手術(MED)や腰部脊柱管狭窄症の内視鏡手術(MEL)は、過去4年間に5000件以上の実績があり、国内一の件数です。またMED、MELの入院期間は、平均4~8日となっており、その短さも全国トップクラスです(厚生労働省発表DPC病院データより)。

椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の内視鏡手術の件数は全国トップレベル



# 2 チーム医療

一人の患者さんに対し  
各医療専門職が連携して  
体と心をケアする

患者さん中心の医療の実現のため、当院ではチーム医療を実践しています。医師や検査技師をはじめ、病棟で患者さんのケアにあたる看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリを行う理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど、それぞれ高いスキルを持った医療専門職（メディカルスタッフ）がチームとなり、1人ひとりの患者さんの情報を共有し、知恵を出し合って治療に当たっています。



各部門が集まって行うカンファレンス

## 基本方針

- 1 優しく安心で、できる限り低侵襲の治療を行います。
- 2 患者が納得して意思決定できるよう、適切な情報開示を行います。
- 3 繙続的に治療成績を含めた医療内容を評価・開示し、技術・能力が高まる環境整備を行います。
- 4 地域・患者さんのニーズに応えるため、健康・福祉・医療機関との緊密な連携を図ります。

## 院長に一問一答

**Q** 日本全国各地から患者さんが訪れていると聞きますが。

**A** 平成24年の脊椎手術を受けた患者さん1452件の約半数の708人が東京都以外の方です。また海外からも手術を受けにいらっしゃる患者さんもいます。

# 3 最新の機器

最先端の画像診断機器により  
精密な情報を集めて  
的確な治療に繋げる

「よりよい機械はより多くの情報を伝え、医師の判断を助ける」という考え方から、当院では画像診断機器やその他の医療機器も最先端の機器を揃えています。たとえばMRIトラクトグラフィーと独自の合成画像の開発により病変部分の診断がより正確となっています。またPET-CTによる手術部位感染症の早期診断、トモシンセシスによる微細な断層撮影など、幅広く精緻な検査を行っています。



X線テレビシステムと全脊柱の写真

## 院長に一問一答

**Q** 最先端の高度な検査機器を設置していますが。

**A** 病変を早期に診断し、より精緻に把握することは、治療方針や手術の内容（切除部分など）の決定に必須です。そこで、もっとも高度な機器が必要になるのです。



# 4 積極的な医療開示

## 患者さんが安心できるよう さまざまな情報を積極的に提供

当院では、電子カルテをはじめとした総合医療電子システムを導入しています。X線写真はもちろん、CTやMRI、血液検査など、患者さんはご自身の検査結果データをインターネット上で閲覧することができます。またご希望によって、各種画像のCDでのお渡し、診察記録の開示も行います。内視鏡手術については、一部始終をビデオ録画しており、編集や修正のない状態でご提供しています。



X線写真はもちろんCTやMRI、血液検査など全ての臨床データを患者さんに開示しています



## 院長に一問一答

**Q** 素早い対応がモットーのようですが。

**A** 当院に受診され、診断・治療方針が決定された患者さんに関しては、2～3週間、または手術の種類によっては10日以内に手術が受けられるよう努めています。少しでも早く患者さんに心身の負担を軽減していただきたいと思っています。

## 病院概要

### 専門の整形外科だけではなく 内科も充実した診療体制

当院では、整形外科だけでなく内科に関しても各領域の検査／治療体制を整えています。消化器内科、呼吸器内科、循環器内科などの標榜科をはじめ、曜日ごとに専門医師による外来（生活習慣病外来、禁煙外来、神経内科、血液内科）で診療を行っています。

<b>診療科目</b>	整形外科／リウマチ科／リハビリテーション科／放射線科 麻酔科／内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科	(全60病床)
<b>受付時間</b>	初診 月曜～金曜 午前 8:30～11:00 午後 1:00～4:30 土曜 午前 8:30～11:00	
	再診 月曜～金曜 午前 7:00～11:00 午後 1:00～4:30 土曜 午前 7:00～11:00	
	リハビリ受付 月曜～金曜 午前 7:00～11:00 午後 1:00～4:00 土曜 午前 7:00～11:00	
<b>診察時間</b>	月曜～金曜 午前 9:00～11:00 午後 2:00～4:30 土曜 午前 9:00～11:00 ※日曜、祝祭日休診	
<b>面会時間</b>	月曜～土曜 午後 2:00～午後8:00 日曜、祝祭日 午前 10:00～午後8:00	
<b>学会指定</b>	日本整形外科学会研修施設	
<b>指定医療</b>	保険医療機関・療養取扱機関／労災保険指定医療機関 生活保護法指定医療機関／被爆者一般疾病医療機関／結核指定医療機関 東京都指定二次救急医療機関／東京都肝臓専門医療機関	



1960年に岩井病院として開設。  
1994年現在の病院名に改称する

# 明日の仲間に向けて 私どもからのメッセージ

き　しゅ　ぶつ　しん  
**鬼手仏心**

仏心を以って敢えて鬼となり衆生を救う

自分自身の行った治療を見直し、  
より良い成果を求めて  
常に進み続ける医師を求めます。

院長 稲波弘彦

技  
gi / waza



新  
shin / atara / arata

明るくて、趣味が多彩で、話題が豊富な人を求めます。

検査部部長  
石橋孝志  
Ishibashi Takashi



優  
yū / yasa / suga / masa

薬剤部薬局長  
中松佳世子  
Nakamatsu Kayoko

患者さんの立場に立って考えられる人を求めます。

物事に柔軟で、企画力がある人を求めます。

on / atata / nuku

品  
on / atata / nuku

リハビリテーション部部長  
新谷雅樹  
Niiya Masaki

何より看護が好きで、流れに乗れる人を求めます。

看護部部長  
市橋則子  
Ichihashi Noriko

心  
sin / kokoro

# 看護部

## 病棟・外来・手術室

sin / kokoro

仕事のやりがいと誇りを持ち、看護でも日本トップレベルを目指す

60床の小規模な病院ながら、市橋看護部長によれば「どの部門も『スピード・正確・親切』が求められる」と言う。

外来は毎日、内科を含め350人以上の患者さんが来院する。とくに整形外来は低侵襲の内視鏡手術を求め、全国、また海外からも患者さんが訪れる。そのため、初診時に諸検査・診断・手術計画・説明など全て終えるように配慮し、外来の看護師は『ムダに待たせない』ことをモットーに、待ち時間の軽減に奮闘している。

また手術室は2部屋あり、1日8件前後の手術が行われる。看護師は医師と連携し、集中力を高く維持し、当院独自の看護を展開している。

病棟は7対1看護であるが、1日8~10名の入院と退院がある。平均在院日数は9日だが、早い人は4日で退院するため、入院から退院までにやるべき業務は多く、看護パスを作成し活用している。

「看護師はみな忙しいと口を揃えますが、離職率は国内平均の13%に対し7%です。その理由は、何より1人ひとりが仕事へのやりがいと誇りを持っているからです。目指すは“看護でも日本でトップクラス”という患者さんからの評価。スタッフみんなが前を向き突き進んでいます」



看護師をはじめスタッフは全員、各自ノートパソコンを持ち、電子カルテを活用して患者さんの情報を共有する

### Time Schedule

- 8:10 病院出勤
- 8:30 ミーティング
- 業務開始
- 適宜 昼休憩—
- 17:00 終業
- (シフトによって残業)

## 病棟

退院患者さんの「ありがとう」の言葉に、ほっとします

3F病棟の責任者をしている伊藤理子さん。看護歴11年目のベテランである。仕事内容は多岐にわたる。入退院のベッドコントロール、入院の患者さんラウンド、看護スタッフの業務調整、勤務表の作成、ドクターへの報告など。さらに感染管理認定看護師の資格を持つ伊藤さんは院内ラウンドやICT(感染制御チーム)といった病院全体のコントロール業務も担う。「とくに当院の病棟は回転が速いのでこの調整業務は大変です。しかし、入院日数が少ない患者さんでも、退院後に病棟までお見えになり、



2階病棟の看護師たちのミーティング

“こんなによくなつたよ”とか“ありがとう”と言つていただけだと、報われた気持ちになります。改めて時間の長さではなく、看護の内容の濃さが重要なだと感じ、また頑張ろうと思えるんです」



退院時に患者さんが書いてくれた「ありがとう」のメッセージ

# 外来

仲間や患者さんに支えられて  
仕事ができるのが幸せです

夫の転勤と出産のため、看護師の仕事を一時辞めていた木村さん。5年前にここで復帰した。「以前勤めていたところと違う診察科もあり、整形外科特有の処置の違いを覚えるということもあります。何しろ、患者数の多さ、オペの多さ、そしてつねに新しいものを取り入れる病院なので、最初は環境に慣れるのに大変でした」と言う。しかし、先輩方がみんな時間をかけ丁寧に教えてくれた。また彼女の子供が熱を出したり、ケガをしたりした際にも、「休んでいいよ」と気持ちよく言ってくれる。「本当に仲間の皆さんに助けてもらって今があると思います」。さらに、明るい性格の木村さん、何よりたくさんの患者さんと話ができることが楽しいという。「通院している患者さんたちが、私たちに気さくに声をかけてくださるんです。いつも周りの人に励まされていて感謝しながら今日も頑張ろうって思います」



## Time Schedule

- 8:30 病院出勤
  - 8:50 ミーティング
  - 9:00 業務開始
  - 適宜 昼休憩—
  - 17:30 終業
- (シフトによって残業)

外来部門の看護師は全部で19名

木村真由美さん(36)

Kimura Mayumi



大友勝利さん(37)

Otomo Katsutoshi

手術室にて。看護師もドクターと一緒に内視鏡を見ながらオペを進めていく



## Time Schedule

- 8:10 病院出勤
  - 8:20 カンファレンス
  - 8:30 業務開始
  - 適宜 昼休憩—
  - 17:00 終業
- (シフトによって残業)

# 手術室

医師と協働して手術をしている、  
ここでは、そんな実感が持てます

内視鏡手術が9割の手術室では、「看護師の仕事内容も他の病院とは違う」と大友さんは言う。「通常、オペ室の看護師は、ドクターの手元が見えませんから、進行状況はドクターの声や状況判断で確認します。しかし、ここでは、ドクターとともに看護師も内視鏡を見ながら進行していくので、今、何をしているかをしっかり理解できます」。そこで、使用する器械や組み方、滅菌方法、器械を包む布のかけ方まで、ドクターと看護師が互いに意見を言い合いながらオリジナルに作りあけていく。

「本当の意味で、看護師がチーム医療として参加ができる病院です。そして我々が一番に目標にしていることは、“より安全に、より迅速に”です。多くの患者さんが求める治療を、1人でも多く1分でも早く提供したい。そのためディスカッションとトレーニングを積むのがやりがいになっています」

shin / atara / arata

# 検査部

## 放射線科・臨床検査科

正確な検査能力、判断とともに、患者さんが安心できるよう心がける

当院の検査部における第一の特徴は、最先端の検査機器を揃えていることである。これは、患者さん1人ひとりの疾患の正確な情報を集めることで的確な診断、治療を進めるためである。それとともに、患者さんにとってより安全で、負担が少なく、さらに迅速な検査を行う“検査効率”の向上という側面もある。

第二の特徴として、オペ件数に比例し、検査件数が非常に多いことである。1日にレントゲン約150件、MRI約25件、CT約15件、PET-CTは9件と、同規模の病院に比べ、約2倍の数である。とくに遠方から来院される患者さんが多く、何度も足を運ぶ負担をかけないように迅速な対応を行うため、MRIも20時まで稼働させている。

石橋検査部部長は、検査部の目標を次のように語る。「患者さんの不安をできる限り早く解消するということを一番大事にしています。ですから検査部は機械操作、判断など精密な能力はもちろん、それ以上に患者さんに向き合うことを大事にしています。患者さんが安心して当院で治療が受けられるよう、検査という時間の中でも、我々はつねに明るく、心配りをするようにつとめています」



PET-CTの画像診断をモニターで  
チェックする放射線技師の徳田さん

## 臨床検査科

正確な内科的検査を行って  
安全な手術につなげる

臨床検査技師として約30年の経験を持つ大ベテランの古矢さん。主な仕事は、患者さんに直接触れる心電図や超音波などの生理検査である。

「ここは整形外科に特化した病院ですが、オペ前に、患者さんの内科的な身体の状態をしっかりと検査しておかなければなりません。ですからオペ件数に比例して、生理検査の数も多いのです。また初診からオペまでの期間が非常に短いので、スピードも求められるのが特徴ですね」



古矢由里子さん(55)  
Furuya Yuriko

### Time Schedule

8:30 病院出勤  
9:00 業務開始  
—適宜 昼休憩—  
17:30 終業  
(シフトによって残業)

人間ドックの超音波検査を行  
う臨床検査技師の古矢さん



さらに併設の『MIC』(後述)で行う人間ドックをはじめとしたさまざまな検診業務の検査も担う。やりがいを聞くと「オペにつなぐ大事な使命を担っていることが一番のやりがいで  
すね。またMICの検診中に、患者さんの大き  
なリスクを発見することもあり、医療人として  
早期発見の重要さを肝に銘じています」

# 放射線科

画像を見る目をつねに向上させる  
毎日が勉強になります

入職して9年目の徳田さん。自身の役割は、「患者さんの病態を医師が正確に把握できるように、頭を使って撮影すること」だと言う。撮影で心がけていることは検査件数が多くても慎重に時間をかけて撮ること。「最初に画像を見るのは我々です。時に予想外の病変を発見し早期治療につながることもあるので、つねに画像をじっくり見ながら、些細な変化も見逃さないことが大事なのです。そのためには9年目でも、見る目をつねに養っている毎日です」

時間にも追われる毎日だが、「明るい職場なので苦になりません」と満面の笑み。「役職や上下関係を超えて、仕事から趣味のことまでいろいろ話ができます。時には、検査部で旅行に行くこともありますよ。仕事の仲間、チームでありながら、気のかけない友達の面もある。だから毎日の仕事が楽しいんです」



MRI検査



CT検査

## Time Schedule

- 8:30 病院出勤
- 9:00 業務開始
- 13:00 昼休憩
- 17:30 終業
- (シフトによって20:00 終業あり)

徳田一泰さん(32)  
Tokuda Kazuyasu



一般撮影検査

## メディチェック画像診断センター Medicheck Imaging Center (MIC)

### 予防医療体制も充実した検診センターを併設

現代人の死亡原因のトップは、ご存じのように、がん、心臓病、脳卒中である。この三大疾患は、生活習慣の悪影響による生活習慣病を背景としている。当病院は整形外科に特化しながら、一般市民の“かかりつけ医”としての役割を重んじ、こうした生活習慣病予防をはじめとしたさまざまな検診を併設のメディチェック画像診断センター『MIC』で行っている。一般的な人間ドック、生活習慣病検診、認知症の早期発見のための「もの忘れドック」、より精密ながん検診のPET/CT検査やマンモグラフィーによる乳がん検診など、気になる病気に対するリスクを精密に検査できる。

MICの受付



マンモグラフィー検査

# 薬剤部

yū / yasa / sugu / masa

優  
良  
好  
處

患者さんの気持ちを十分に理解し、安全な入院生活を支える

当院の薬剤部は病棟業務が中心である。薬局長を除いたみなしが病棟の患者さんを担当しており、その患者さんのところへ出向いて薬剤に関する情報をお知らせする。まず、入院時には、患者さんの持参薬についてカウンセリングを行う。その持参薬の鑑別、さらに担当医の指示をもらって、入院中の当院の処方薬、また点滴など全ての薬との飲み合わせを処方監査する。こうして入院中の担当患者さんの全ての薬をセット、管理するのである。

中松薬局長は薬剤部の目標について次のように語る。

「一番大切なことは、患者さんが入院生活を安全に、快適に過ごせるようにすることです。そのためには、薬剤部も患者さん側に立った病棟業務を実施しなくてはなりません。とくに薬の処方に關しては、患者さんの体の状態だけでなく、お気持ちを十分に理解することが必要です。そしてチーム医療の中で薬の専門家としてきちんと意見が言えるよう、おののがスキルアップしていくことが大切と考えます」

薬剤業務のすべてを担うからこそ自分を高めていける

入職して7年目の寺内さんは、現在、薬剤部の中でもとくに病棟を中心とした薬剤業務を担う。「小さい病院なので、調剤からDI業務（医薬品情報）などその時々に必要とされる業務の全てを行います」と言う。たとえば、ある一日では、退院患者さんの薬剤の準備と指導、さらに新しく出たカルテをチェックして薬を調剤したり、また週に1回算定日にあたる患者さんに薬剤の指導などにも行く。

「電子カルテでみな情報を共有しているので、そこへの記入業務も欠かせません。また自分もその情報を見ておかなくてはいけません。大きい病院では薬剤部の中でも、ほとんど仕事は分担制ですが、ここでは、全てを網羅できないといけません。大変だという反面、新卒でも1から10までいろいろ教えていただけるので、勤めやすい環境ですし、薬剤師としての総合的な能力を養えるのです」



病棟患者さんの薬剤を分包していく



病棟患者さんに薬剤の説明を行う



寺内美貴さん(29)

Terauchi Miki



病棟患者さん用の薬剤をセットする

## Time Schedule

- 8:40 病院出勤
- 9:00 業務開始
- 12:30 昼休憩
- 17:30 終業

# リハビリ テーション部

身体の負担を減らす「正しい姿勢づくり」に特化したリハビリ

「当院のリハビリのキーワードになっているのは“姿勢”です」という新谷部長。人が、立つ、座る、歩くといった日常的に行う姿勢や動作は、関節や骨、筋肉といった運動器の健康に深く関係する。「椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の患者さんは、こうした姿勢や体の使い方が痛みにつながっているケースが非常に多いのです」。そこで、スタッフみんなで考え出したオリジナルの運動療法が『Beautiful Posture Training』である。

「まず患者さんに、身体に負担のかからない正しい姿勢とは何かを理解してもらい、同時に現在の自分の姿勢がどうなのかを知ってもらいます。今までの姿勢の癖や悪い習慣を正すために意識改革をしてもらい、さらに、その姿勢を保つための筋力、柔軟性、バランス能力を向上する運動を指導します。

しかしながら、入院期間が短い患者さんに全てを指導するのは至難の技。そこで画像を作成し、患者さんが自宅に帰ってからも運動を続けられる工夫を考えています。ここでは、理学療法の知識や技術はもちろんですが、現場で実践的な企画力も大事だと思います」

動くのも辛かった人が元気に歩く  
そんな姿を見るのが一番うれしい

入職3~4年の若手のふたり。憧れていた理学療法士の仕事は、「想像以上に難しいが、やりがいがある」と言う。「とくに当院は整形外科に特化している上に、腰を中心とした疾患が非常に多いので勉強になる」のだと言う。

小林さんがとくに日々勉強になるというのが患者との会話。

「カルテ上の病名は同じでも、症状は人によって全く異なります。リハビリを進める上で、その実際の症状と、患者さんの性格的な面は回復に大きく影響を及ぼします。ですから、まずはきちんと評価が重要。そのためにも患者さんとの会話から得る情報は大切なのです」

また清水さんは、患者さんの気持ちをポジティブにすることが大事だと話す。

「最初から高い目標でリハビリを始めると、少

on / atata / nuku



## Time Schedule

8:30	病院出勤
9:00	業務開始
12:30	昼休憩
17:30	終業
(日によって残業あり)	

リハビリではいつも患者さんとの会話が絶えない



小林祐介さん(25)  
Kobayashi Yusuke



清水亮佑さん(26)  
Shimizu Ryosuke



バランス能力をアップするためさまざまな運動療法を行う

しでもうまくいかない場合、患者さんはしおりてしまいます。そこで患者さんの身体と心の様子に合わせて、小さな目標を少しづつ立てながらリハビリを進めます。その時々の、『できたよ』という達成感が喜びになり、また頑張ろうという気持ちになります」



医療法人財団 岩井医療財団

### 岩井整形外科内科病院

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩8-17-2

Tel.03-5694-6211

Fax.03-5694-6663

<http://www.iwai.com/>

### メディチェック画像診断センター (MIC)

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩8-17-2

Tel.03-5889-1319

Fax.03-5889-0319

0120-173-319

<http://www.iwai-mic.com>

### 介護老人保健施設いわい敬愛園

〒133-0056 東京都江戸川区南小岩8-13-5

Tel.03-5693-8341

Fax.03-5693-8349

<http://www.iwai-kaigo.com>

